

会 議 録 (1)

会議の名称	平成30年度 第1回飯能市立博物館協議会
開催日時	平成30年6月12日 午後2時00分から午後3時30分
開催場所	飯能市立博物館 学習研修室
議長氏名	加藤栄子
出席委員	伊藤誠 岡野民嗣 加藤栄子 栗原慶子 小槻成克 井上淳治 杉田和美 馬場憲一
欠席委員	野村正弘 平良宣子
説明者の職員	なし
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	館長 尾崎泰弘 主査 引間隆文 主任 長谷川裕子 主事 金澤花陽乃

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・決定事項

議事

- (1) 平成 29 年度事業報告について
 - ・資料 1、参考資料に基づいて説明した。
- (2) 平成 30 年度事業経過と今後の予定について
 - ・資料 2 に基づいて説明した。
- (3) その他

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
	午後 2 時 0 0 分 開会
主査	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、野村委員、平良委員からご欠席の連絡をいただいておりますが、飯能市立博物館条例第 15 条第 2 項に規定されています「委員の 2 分の 1 以上の出席」をいただきましたので、これより平成 30 年度第 1 回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p> <p>それでは開会に際しまして会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 あいさつ</p> <p>皆さまこんにちは。梅雨の時期になりましたが、お忙しい中お集まりくださりありがとうございます。どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
主査	<p>ありがとうございます。続いて館長よりごあいさつを申し上げます。</p>
館長	<p>こんにちは。本日は飯能市立博物館になってはじめての協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。また、リニューアルオープン式典では皆さまご出席くださりありがとうございます。おかげさまでオープン以来、たくさんの方に来ていただいております。先月末にはリニューアルオープン記念写真展が終わり、当館も一息ついたところです。これから秋の特別展もありますので、リニューアルオープン直後の慌ただしい状態から、通常の博物館活動の充実に向けてますます精進していきたいと思います。</p> <p>議事にさきがけまして、今年度村上主査が異動となり、新しく長谷川主任が着任しましたので紹介させていただきます。</p>
主任	<p>こんにちは。ただいまご紹介に預かりました長谷川と申します。今年度、環境緑水課から異動してまいりました。自然担当として広く飯能市の魅力を PR していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
主査	<p>これより議事に入ります。議事の進行につきましては、条例第 15 条第 1 項の規定により、会長をお願いいたします。</p>
議長	<p>3 協議事項</p> <p>それではしばらくの間、議事の進行を務めさせていただきます。議事に入ります前に、まずは 5 月 12 日に累計来館者数が 80 万人を突破したとのこと、おめでとうございます。入館者 80 万人というのは協議会の励みにもなります。これからもみんなで力を合わせていければと思います。</p>

	<p>では早速ですが、議事の「(1) 平成29年度事業報告について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
館長	<p>(1) 平成29年度事業報告について それでは議題「(1) 平成29年度事業報告について」説明いたします。 (資料1および参考資料に基づいて説明)</p>
議長	<p>質疑等ございますか。</p>
委員	<p>夏休み子ども歴史教室について質問です。くずし字を題材にした事業を行ったとのことですが、子どもたちの反応はどのようなものだったのでしょうか。アンケート結果などはあるのでしょうか。また、内容はどのようなことを行ったのでしょうか。</p>
主事	<p>アンケートについては、12名の参加者のうち、11名から回答がありました。事業全体を通しての感想は、1名から「ふつう」との回答がありましたが、ほかの10名からは「楽しかった」「まあまあ楽しかった」との回答をいただきました。また、開催したゲーム自体については、全員が「楽しかった」との回答でした。</p> <p>事業の内容は、くずし字カードを探す宝探しと、くずし字クロスワード、くずし字で自分の名前を書いた栞の制作などを行いました。なお、今回は変体仮名のみを使い、漢字のくずし字は扱いませんでした。</p>
委員	<p>どんぐり探検隊の出席者は4名だったとのことですが、なぜこのような人数になったのでしょうか。</p>
館長	<p>申込時は5名でしたが、当日1名が欠席になり、結果として参加者が4名になりました。休館期間中ということもありましたが、周知が足りなかったと考えています。</p>
委員	<p>山に住んでいると、身の回りに普通に自然がありながらそれに気が付けません。普通に暮らしていると気が付かないことも、こういう機会があると気づきの場になるのでいいと思います。</p>
委員	<p>社会科研究展の発表会についてお聞かせください。私も当日参加しましたが、社会科研究展の作品は本人だけではなく親も一緒になって作り上げることも多いので、発表会の場を設けるのは各家庭にとっても良かったと思います。事務局としてはいかがでしたか。</p>
館長	<p>一番の心配は、受賞者の方々に参加してもらえるのか、ということでした</p>

	<p>が、皆さま出席してくださってよかったです。保護者の方を含めて、発表会を前向きに受け止めてくれたのかな、と感じました。驚いたのは、発表者の皆さんがとても上手にわかりやすく話の内容をまとめてくれていたことです。時間が長引いてしまうことも無く、普段から学校の総合の時間などで発表をしている成果が出ているのだと感じました。発表者・保護者・観客、それぞれにとって良い会になったと思います。</p>
議長	<p>これからの時代、プレゼンは社会に出たときに基礎となるスキルですので、ぜひ続けてほしいと思います。</p> <p>子ども歴史教室や自然講座などの子ども向け事業も、これから盛り上がってくれれば良いですね。</p>
委員	<p>出前講座で、選ばれるテーマの傾向などはありますか。参考資料を拝見すると、災害に関するものが多いように見受けられますが。</p>
館長	<p>確かに、災害関係の講師派遣は多いです。これは、危機管理室と合同での出前講座を昨年度から新たに始めたことも関係しているかもしれません。この講座は、現代の危機管理について危機管理室が、その地区の災害史について当館が説明する、という構成になっています。災害関係の講座が多いのは、近年の防災意識の高まりもあると思います。</p> <p>ほかに全体的な傾向としては、武蔵野鉄道がやはり多いです。時期的な特徴としては、年度初めに、新規採用職員や地元企業の新入社員を対象とした研修の依頼を受けて、飯能市全体の話をする人が多いです。</p>
委員	<p>市民学芸員活動について、三つの分野に分かれています。その養成などはどのように行っているのでしょうか。</p>
館長	<p>市民学芸員になるには、ほぼ一年かけて行われる養成講座の受講が必要ですが、講座は毎年ではなく必要に応じて開催しています。全15回の講座のうち、10回程度が博物館学について、5回が各活動分野についての講義となっています。7割以上の出席で、市民学芸員と認定されます。したがって、古文書整理型で認定を受けた人が博学連携参加型でも活動したい場合は、博学連携参加型の養成講座を受講する必要があります。</p>
委員	<p>分野間の人数の偏りには理由があるのでしょうか。</p>
館長	<p>まず、分野ごとに必要な人数が違う、という理由があげられます。これに伴い、養成講座を開講する回数も分野によって違ってきます。最初に養成を始めたのは博学連携参加型ですが、この分野はたくさん的人数が必要なため、継続して養成しています。</p>

議長	<p>修了証などはあるのでしょうか。また、外部に対しては市民学芸員という名称はどのような扱いになるのでしょうか。</p>
館長	<p>現在は、養成講座が終わった時にお渡しする修了証と、活動時に身につける名札があります。市民学芸員というのは当館の活動と関わる場合にのみ名乗る名称なので、博物館に関係ない活動では使うことができません。以前、市民学芸員の名刺を作らせてほしいという声があがったことがありますが、お断わりしました。</p>
委員	<p>講師派遣一覧を見ると、「「うちおり」と絹の里、飯能」というものがありますが、これはどのように開催したのでしょうか。実物の資料を持って行ったりしたのでしょうか。</p>
館長	<p>このときは開催場所が富士見地区行政センターだったこともあり、実物は持って行きませんでした。</p>
議長	<p>他に質疑等はございますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
議長	<p>なしと認めます。次に「(2)平成30年度事業経過と今後の予定について」に進みたいと思います。では事務局から説明をお願いします。</p>
館長	<p>(2)平成30年度事業経過と今後の予定について それでは「(2)平成30年度事業経過と今後の予定について」ご説明いたします。 (資料2に基づいて説明) リニューアルオープン記念写真展「春を告げる者たち」では、今回の常設展示改装にあたりご協力くださった市民の皆さまが撮った写真を展示しました。入館者数は1日平均178人でした。通常は1日100人程度なので、倍近いこととなります。 4月に開催した自然観察会と夏休み子ども歴史教室については、担当者から説明いたします。</p>
主任	<p>自然観察会について報告いたします。観察会で吾天覧山と多峯主山へ入り、参加者の皆さまと一緒に春の草花を勉強しました。色々な花が見ごろでしたが、春を告げる花々があったので、全員で見ました。アンケートも大変好評で、春だけではなくほかの季節にも実施してほしい、という意見もありました。</p>

主査	夏休み子ども歴史教室について説明いたします。今回は、子どもたちに日本刀を楽しく学んでもらうことを目的に開催します。対象は小学校4年生から中学生で、午前と午後の2回にわけて行う予定です。
議長	何かご質問などはありますか。
委員	リニューアルオープン以降、文化新聞における連載など色々な場面でアピールしているのが伝わり、努力しているなど感じました。 ツデーマーチの日の入館者数が伸びていないようですが、ビジターセンター的機能を持つ、ということもありますし、担当課などとツデーマーチの際に事業の連携をする、などといった予定はあるのでしょうか。
館長	以前、ツデーマーチの日に誘導看板を出したことがありますが、全く効果がありませんでした。それ以来ツデーマーチにおける集客は考えてこなかったのですが、今年度からはビジターセンターと名乗っている以上、何か考えなければいけないとは思っています。
委員	ツデーマーチを歩く人は、まわりに目もくれずひたすら歩いている方が多いですね。
委員	前に、市民学芸員が解説しながらツデーマーチを歩く、という事業もありましたが、みなさん話を聞く、という雰囲気ではなかったですね。
委員	歩いている人に寄ってもらうのは難しそうですね。ツデーマーチ当日は「ここに博物館がある」ということを認識してもらい、後日来館してもらえようアピールするのが良いのではないのでしょうか。
委員	子ども歴史教室についてですが、日本刀は何振所蔵しているのですか。
主査	当館で持っている物は、18振です。ほかに寄託が1振あります。
委員	それらは寄贈されたものなのですか。それとも購入品ですか。
主査	文化庁から譲り受けた赤羽刀が多いです。
委員	保存のための手入れなどはしているのでしょうか。
館長	年に1回手入れを行っています。
委員	小学生に日本刀を扱わせるのは中々大変だと思いますが、実際に子どもたちに

	<p>持たせるのでしょうか。</p>
主査	<p>持たせる予定です。脇差があるので、それを中心に扱いたいと思っています。子ども相手なので基本的には観察の仕方などが中心になりますが、作り方や扱い方も取り上げる予定です。</p>
委員	<p>鐔はついた状態で行うのですか。</p>
主査	<p>いえ、白鞘の状態で行います。</p>
委員	<p>機会がありましたら、鐔の美しさや刃文の美しさも伝えていけたら良いですね。</p>
委員	<p>もし可能ならば刀匠の方にご協力いただくのも良いのではないのでしょうか。</p>
主査	<p>子ども歴史教室の講師とも相談したいと思います。</p>
議長	<p>刀剣は今ブームにもなっていますし、良い時期に良い講座をやることになったと思います。</p> <p>ほかにご質問などありますか。</p>
委員	<p>小学校の社会科における郷土学習についてです。今年度すぐに、ということではありませんが、これから学習内容が変わり、昔の道具を体験する単元が無くなる可能性が出てきています。そうなると、学校と博物館の関係性も変わってくると思います。</p> <p>学校へのアプローチについて、今後を見据えて早めに考え始め、PRをしていけたら良いのではないのでしょうか。</p>
館長	<p>私たちもその件については気になっています。一点確認させていただきたいのですが、学習内容が変わると児童たちが博物館に来なくなる、ということでしょうか。</p>
委員	<p>確かに、学習内容が出前授業で成り立ってしまえば、博物館にわざわざ行かなくても良い、ということも十分に想定できます。したがって、児童を館に呼ぶための新しいチャレンジを考えながら、活動できると良いかなと思います。学校でもこの点については懸念しているので、協力し合っていきたいです。</p>
議長	<p>ほかには何かございますか。飯能戦争150周年記念事業についてはいかがでしょうか。</p>

館長	<p>とても人気があり、申込開始から40分ほどで定員に達してしまいました。飯能戦争への関心の高さと感じるとともに、明治150年の宣伝を見て申し込みをした人もいたのかなという印象を受けました。部屋の収容可能人数から定員を30人にするしかなく、お断りした方もたくさんいます。その方たちへは、ご希望があれば講座の資料をお渡ししています。</p>
委員	<p>お断りした方がたくさんいるとのことですが、講義を全く聞けないのはもったいないことだと思います。DVDなどに記録しておいて、視聴できるようにするのは難しいでしょうか。講師が外部の方の場合は難しいこともあるかもしれませんが、なるべく多くの方へ公開できるように考えても良いのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>講座を聞かせていただきましたが、史料に基づいて話をされていてとても良かったです。</p> <p>ほかには何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
議長	<p>なしと認めます。次に、「(3) その他」について、事務局からは何かありますか。</p>
館長	<p>(3) その他 事務局からは特にありません。</p>
議長	<p>では私からお話しさせていただきます。</p> <p>現在、「デジタルアーカイブ」という言葉が頻繁に聞かれるようになり、時代がそのように流れているのだと感じています。デジタルアーカイブそのものは大変重要だと思いますが、中には許可なく写真や動画を撮り、それをインターネット上に上げてしまう、というような方も残念ながら見られます。今後、デジタルでの写真・動画の撮影やアップロードについて、様々な問題が出てくる可能性があります。問題を防ぐためにも、写真や動画の撮影・取扱いについて、市民の皆さまへ啓発していく、ということをお願いできればと考えております。</p> <p>ほかには何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
議長	<p>なしと認めます。以上で、本日子定した議事につきましては、全て終了いたしました。進行を事務局へお返しいたします。</p>

<p>主査 館長</p> <p>主査 委員</p> <p>主査</p> <p>主査</p> <p>主査</p>	<p>4 その他 「4 その他」に入る前に、事務局から申し上げます。</p> <p>今月末を持ちまして、今期の委員は任期満了となります。みなさま2年間、本当にありがとうございました。</p> <p>ほかに何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>飯能村絵図の文化財指定について、文化財保護審議会から先日答申を出しました。飯能の文化財に、また新たな仲間が加わることになりそうです。</p> <p>ほかに何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p> <p>特に無いようですので「4 その他」は以上といたします。</p> <p>5 閉 会 以上で、平成30年度第1回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">午後3時30分 閉会</p>
<p>議事の内容を、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名 _____</p>	